

# ① イン트로ダクション

- 宮城県では、東日本大震災を経験したことで、外国人観光客に対し「例え少々の地震が起こっても安全であること」「もしもの場合に備えがあること」などの情報を確実に説明することができます、万が一の場合はそのような情報発信をしていくことが必要不可欠となっています。



# 外国人の災害に対する意識

- 外国人の災害の経験や知識には、ばらつきがあり、国によっては、地震、津波、台風などの災害が一般的ではない場合もあります。言葉の分からない国で災害に遭うのは、精神的に不安なものです。積極的にコミュニケーションをとって、外国人の心のケアをしましょう。



## 【災害に対する知識】

- ・外国人の中には、「地震」ということを理解できない方もいる。
- ・震度やマグニチュードといった地震の規模などについて、数字では理解できない可能性がある。
- ・地震により、滞在場所での停電や断水などが発生することを予測できない可能性がある。

# 外国人の災害に対する意識

## 【災害に遭遇した際の反応】

- ・地震の規模を理解できないため、過剰な反応を示し建物の安全性についての説明を求める傾向にある。
- ・地震の揺れでパニックを起こし、一人ではいられなくなる場合がある。
- ・地震が発生した後でも、その影響がわからず、通常通りエレベーターを使おうとする場合がある。
- ・被災地から、一刻も早く帰国したいという気持ちから、交通情報についての質問が多く寄せられる。